

いきいき遊ぶ！ わくわく学ぶ！

江東区立幼稚園 ガイド 2026



江東区教育委員会

目 次

たいせつなものが、ここにはある ～江東区立幼稚園へようこそ～ 江東区教育委員会 教育長 本多 健一朗・・・・・・・・ 1
こども一人一人のよさと可能性を育む江東区立幼稚園の教育 玉川大学教育学部乳幼児発達学科 教 授 大豆生田 啓友・・・・・・ 2
幼稚園での主体的な遊びや生活が小学校での学びにつながっています 国土館大学体育学部こどもスポーツ教育学科 教 授 喜名 朝博 元江東区立明治小学校統括校長・・・・・・・・ 3
江東区立幼稚園ってどんなところ？・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
幼児にとって遊びは大切な学びです・・・・・・・・・・・・・・・・ 5・6
江東区立幼稚園の子育て支援(かんがるーひろば・にこにこたいむ)・・・・・・・・ 7
江東区立幼稚園の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
3年保育の園が増えました！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
江東区立幼稚園3年保育(預かり保育あり)に通ってみて(保護者の感想)・・・・・・・・ 10
弁当給食 週1回、食の体験を広げています！・・・・・・・・・・・・ 11
こども誰でも通園制度「あずかーる」・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
江東区立幼稚園12園の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～25
江東区立幼稚園略図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
よくある質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
江東区立幼稚園に入園させてよかったこと(保護者からの声)・・・・・・・・・・・・ 28



たいせつなものが、ここにはある ～江東区立幼稚園へようこそ～



江東区教育委員会 教育長 本多健一朗

○幼稚園は、学校教育の「はじめの一步」

江東区教育委員会では、「教育推進プラン・江東（第2期）」において江東区教育理念を掲げ、「こどもたちが、夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人となること」を目指し、「1.自ら学び考え行動する力、2.困難を乗り越える力、3.人権を尊重し他者を思いやる力、4.社会へ主体的に貢献する力、5.他者と協調・協働し人間関係を形成する力」の5つの力を育むこととしています。これらの力は予測困難な時代を生き抜いていくためにはとても重要であり、その基礎を育む場が江東区立幼稚園です。

学校教育は、小学校からと思われている方が多いかもしれませんが、学校教育法第1条で、「学校とは、幼稚園、小学校…」と定められています。まさに、幼稚園は学校教育の「はじめの一步」を踏み出す場なのです。

○江東区立幼稚園は「主体的・対話的で深い学び」の宝庫

現在、小学校や中学校等では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して授業改善に取り組んでいます。しかしながら、江東区立幼稚園では既に「主体的・対話的で深い学び」を日々の保育において実践してきました。なぜなら、江東区立幼稚園では、幼児の主体性を重視した遊びを基盤とし、幼児が友達と対話し、協働しながら活動を創り上げていくことを通して学んでいくことを大切にしているからです。

○小学校を見据えた「学びのつながり」

江東区では、平成23年度に「保幼小連携教育プログラム」を作成するとともに、令和元年度に小・中学校の「学びスタンダード」につながる、幼児期に必ず体験する内容を明示した「就学前教育スタンダード」を作成し、小学校の学びにつながる保育の充実に取り組んでいます。江東区立幼稚園で学んだ幼児たちは、小学校以降の教育においてもしっかりと自己発揮しています。

○幼児一人一人の思いに寄り添った保育を実現する先生の高い専門性と指導力

幼稚園の教育は、環境を通して行われます。先生は、幼児の主体性を生かしながら、意図的・計画的に環境を構成し、幼児の学びを支援します。教科書がない幼稚園では、先生方の専門性、指導力の高さが教育の質を大きく左右します。江東区立幼稚園では、各園において、そして区立幼稚園全体で、また先生方の経験等に応じて研修・研究に取り組む、専門性を磨き、指導力の向上を図っています。江東区立幼稚園の先生方には、高い専門性と指導力があります。

○江東区立幼稚園は、お子様の入園をお待ちしております

江東区立幼稚園は、入園児数の減少に伴い、残念ながら計画的に園数を減らしています。しかし、南陽幼稚園、豊洲幼稚園、なでしこ幼稚園で行ってきた3歳児からの3年保育を令和7年度よりつばめ幼稚園、第五砂町幼稚園に拡大するとともに、特別な支援が必要な幼児、日本語指導が必要な幼児も受け入れる等、個別最適な保育を進めております。また、各園では、未就園児親子を対象とした「かんがるーひろば」も行っておりますので、江東区立幼稚園を知るためにも、ぜひ一度お近くの園へお越しいただければと思います。

江東区立幼稚園では、生きる力、すべての学びの基礎を育むことができます。江東区教育委員会、江東区立幼稚園では、お子様の入園を心よりお待ちしております。

※教育委員会HP「教育長の学校日記」で幼稚園についても発信しております。

こども一人一人のよさと可能性を育む江東区立幼稚園の教育



玉川大学教育学部乳幼児発達学科
教授 大豆生田 啓友

私は江東区の公立幼稚園の歴史ある幼児教育実践を長年にわたり、かかわらせていただく機会がありました。こども一人一人へのきめ細かい理解とそのよさを活かす教育の在り方とそれを育む研修体制はとて専門性の高いものです。しかし、その専門性の高さは一般の方にはなかなか見えにくいものでもあります。ここでは、私から見た江東区立幼稚園教育の重要性について、2点から述べたいと思います。

〇一人一人の理解とよさを育む教育―「非認知能力」を育む

江東区立幼稚園では、毎日、一人一人の子どもの姿を振り返り、翌日の計画を立てています。このような地道な取り組みは、個々の子どもの内面を理解し、オーダーメイドの教育を作っているのです。それは、一人一人異なる子どもの世界が肯定的、受容的に理解されることにつながります。そのため、「心の安全基地」が形成されるのです。さらに、個々の興味関心を踏まえて、遊びの環境が準備されます。そのため、遊びに夢中になって取り組むことができるのです。

この「心の安全基地」がしっかり形成されることから、①自分の気持ちをコントロールする力（自己肯定感、ルールを守る等）、②人とかかわる力（共感、思いやり等）、③目標に向かってがんばる力（忍耐心、自制心、意欲等）につながるのです。これは、生涯にわたる人の育ちに重要とされている「非認知能力」の育ちです。集団での一斉管理的な教育では育ちにくい力です。

〇遊びを通した主体的で協働的な学び―「21世紀型スキル」を育む教育

一般の方には、遊びの教育は一見、「遊んでいるだけ」のように見えるかもしれません。しかし、その遊びは家庭でする遊びとは異なり、個々の興味関心から始まり、クラスの中で共通のテーマや目的が生まれ、主体的、継続的で、協働的な活動が起こるのです。こうした遊びをプロジェクトとも呼びます。

例えば、「遊園地ごっこ」などを見て下さい。子どもたちがクラスで意見を出し合い、どのような乗り物を作るか、材料や道具はどのようにするか、役割分担をどうするかなどを自分たちで何日もかけて話し合っています（「人間関係」「言葉」）。そこでは、自分たちのイメージを設計図に書き（「表現」）、実際に動く遊具を作るためにはどのような仕組みが必要か、分量はどれくらいにするか（数量や科学的思考の「環境」）を試行錯誤しているのです。体を使って何度も試したりもします（「健康」）。5領域や小学校入学までに育てほしい「10の姿」などを遊びの中で、総合的に育てているのです。しかも、子どもたちが「させられて」ではなく、「楽しみながら」育てているのです。

このようなテーマ性のある協働的な遊びは、小学校にもつながっていく、「主体的で、対話的で、深い学び」であり、これからの社会で求められる「21世紀型スキル」でもあるのです。「お勉強」型の教育では育たない力です。

以上のように、江東区立幼稚園の教育には、子ども一人一人のよさが大切にされ、現代の教育に求められている、「非認知能力」の育ち、「21世紀型スキル」の育ちにつながる大切な教育が実践されていると思います。

大豆生田 啓友先生プロフィール：日本保育学会理事、こども環境学会理事、日本乳幼児教育学会理事、よこはま☆保育・教育宣言運用協議会委員、yahoo japan 公式コメンテーター、NHK・Bテレ「すくすく子育て」出演等、幅広く活動している。

幼稚園での主体的な遊びや生活が小学校での学びにつながっています

国士館大学体育学部こどもスポーツ教育学科
教授 喜名 朝博
元江東区立明治小学校統括校長



○「遊び」は「学び」

「勉強したら遊んでもいいよ」「勉強しないで遊んでばかり」、勉強はいいことで、遊びは悪いことのように「遊び」と「学び」は対義語として使われています。しかし、こどもたちの世界では遊びこそ学びです。幼児期にどれだけ遊び込んだか、その経験の量と質が小学校からの学びに大きく影響します。今、世界的に幼児教育の重要性が叫ばれ、その質への関心が高まっています。

○幼児教育に学ぶ

生活科も入学当初のスタートカリキュラムも、共通する考え方は幼児教育です。幼児期の充実した遊びの延長に小学校教育があると考えてカリキュラムが作られています。それは、低学年の発達段階に合致しているからであり、その意味でも入学準備としての早期教育には意義がありません。誰からも強制されない遊びだからこそ、その子の主体性が発揮されます。小学校ではその経験を生かしながら授業を進めています。

○学びに向かう力

小学校では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」という視点で資質・能力を伸ばしていきます。中でも将来にわたって学び続けるために必要な資質・能力が「学びに向かう力」だとされています。変化の激しい世の中で主体的に生きていくには、何を理解しているか、それを使ってどう考え、どう行動するかが大切ですが、それ以前にどのように社会や人と関わりながら生きていくかという主体的に物事に取り組む態度が重要です。幼稚園での自由な遊びを通して生まれる「おもしろそう」「やってみたい」「不思議だな」「いっしょにやろう」「もっとこうしよう」などの心の動きが「学びに向かう力」につながっていきます。粘り強さや集中力、協調性や自制心など、非認知能力と呼ばれる内面的スキルは、この「学びに向かう力」そのものです。

○「学び」は「遊び」に支えられている

教科等の学習で身につく知識・技能などの認知能力は、非認知能力に支えられており、この2つの力は絡み合うように伸びていくことが明らかになっています。しかし、この学びを支える非認知能力が育つのは、幼児期から低学年までとも言われています。このことが、非認知能力を育む幼児教育の重要性が注目される理由です。

小学校での学びは徐々に抽象度が増していきます。自分で考え理解するとは、それまでの自分の生活経験や学習経験を思い出し、結びつけていく作業です。当然ながら多様な経験をしていれば、経験と学習が結びつきやすくなります。幼児期の遊びを通じた多様な経験が学習を支えており、小学校での学習をスムーズにしています。

○「遊び」を通して人との関わりを学ぶ

自己主張はするのに相手の話は聞かない、他者と関わる経験の少ない子が増えています。個から集団へ、幼稚園の遊びは発達段階に応じて発展していきます。多様な他者と触れ合う中で、自己主張したり、協調したり、自分の気持ちに折り合いを付けたりといったことを学んでいます。そんなこどもたちは、入学後も自己実現しながら主体性を発揮し、友だちとの良好な関係を築くことができます。

江東区立幼稚園ってどんなところ

～幼稚園はこどもが初めて出会う学校です～
友達と遊び、生活する中で、心と身体が豊かに育ちます

学校教育として質の高い幼児教育を推進



小学校との連携や交流を図り、
滑らかな幼小の接続を目指します



遊びを通して
生きる力の基礎を育みます

家庭と連携した教育



PTAとも連携し親子活動や子育てに関する相談などを充実させ、在園児に限らず、地域の子育てを支えています

地域に根差した教育の推進



地域の特色や地域の人材を生かした教育を行い、地域に愛着を感じ、将来、社会貢献できるようなこどもを育みます

幼児にとって 遊びは大切な学びです

遊びながら いろいろなことを学んでいます

たとえば・・・

4歳児「色水遊び」では

5歳児「ドッジボール」では

面白そう、
入れて。

見て見て、
にんじんジュースみ
たい



自立心

どうしたら、
Aちゃんみたいな色
ができるかな？

きれいな
ぶどう色に
なってきた。

ドッジボール、
楽しいな。

パス回して！



健康な
心と体

当たった人は、
外野に出るよ。

ボールから一番
速いところに逃
げると、当たら
ないぞ。

こんなことを学んでいます

こんなことを学んでいます

豊かな
感性と表現

- ★自分から「やってみたい」と興味をもち、色水遊びに参加しています。
(自立心)
- ★気付いたことや感じたことを、教師や友達に動きや言葉で伝えていきます。
(言葉による伝え合い)
- ★色の違いに気付いたり、できた色の美しさを感じたりしながら遊んでいます。
(豊かな感性と表現)
- ★疑問に思ったことについて、考えたり試したりしながら遊んでいます。
(思考力の芽生え)

- ★体を動かす気持ちよさや、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じています。
(健康な心と体)
- ★ルールを、言葉や動きで伝え合いながら遊んでいます。
(言葉による伝え合い)
- ★ルールの必要性を感じ、守って遊んでいます。
(道徳性・規範意識の芽生え)
- ★どのように逃げたら、当たらないか、考えながら遊んでいます。
(思考力の芽生え)

言葉による
伝え合い

思考力の
芽生え

道徳性
規範意識の
芽生え

自然との関わり
生命尊重

社会生活との
関わり

協同性

数量や図形、
標識や文字などへの
関心・感覚

遊びを通して育まれた力は、小学校以降の学習や生活の基盤になります

江東区のホームページで、「就学前教育スタンダード」
「江東区保幼小連携教育プログラム」を検索してみてください。

幼児にとって 遊びは大切な学びです

幼稚園の一日



登園 朝の挨拶



自分のことは自分ですることで、生活習慣の自立が促されます。



主体的に遊ぶ



遊びを通して、いろいろなことを学びます。

- * 自分のやりたいことを実現する満足感を味わいます。
- * 友達と遊びながら、人とのかかわり方や遊びのルールを学びます。
- * 考えたり、工夫したりする力が育ちます。 など



学級全体で取り組む活動

学級の友達と様々な活動に取り組むことで、経験が広がります。学級の一員としての意識も育ちます。



昼食

みんなで食べる楽しさを味わいながら、食事のマナーや食への関心を育てます。



降園時の活動

みんなで歌を歌ったり、当番の引継ぎをしたりしながら、学級のつながりや話を聞く態度を身に付けていきます。



降園



担任から園での様子をお伝えします。園と家庭が連携し、こどもの成長を支えます。

江東区立幼稚園の子育ての支援



かんがるーひろば(未就園児親子登園)

地域の未就園児親子の皆さんに幼稚園の施設を開放しています。
開催日時は各園のHPをご覧ください。



楽しい活動がたくさんあります



先輩ママが子育ての相談にのってくれます



同年齢の友達ができます

にこにこたいむ(預かり保育)

※南陽幼稚園、豊洲幼稚園の
預かり保育とは異なります。

在園の方に対するサービスで、月に1~2回程度、無料で
通常の教育時間より長くお子さんをお預かりします。
保護者の方のリフレッシュタイムとなっています。



図書館で本を借りるなど
地域にも出かけます



ボランティアのお母さんと
楽しい時間を過ごします



近隣の高齢者施設を訪問します

江東区立幼稚園の概要

教育時間

★原則として 月・火・木・金 午前9時～午後2時
 水曜日 午前9時～午前11時30分
 ※詳細は、入園希望の園にお問い合わせください。

休園日

★毎週土曜日・日曜日、国民の祝日、都民の日（10月1日）
 開園記念日（園によって異なります。）、夏季・冬季・春季休業日
 ※振替休業日など園が指定する休園日もあります。

費用

費用	金額	徴収時期	備考
入園料	0円	—	入園料はかかりません。
保育料	0円	—	保育料はかかりません。
P T A会費(※)	500円	毎月	
教材費(※)	700円	毎月	
園服代	園服代は園により金額が異なります。		
その他費用	遠足代、修了対策費など園により徴収する費用があります。		

(※) 上記費用は、令和8年4月現在のものです。今後変更になる可能性もあります。

入園の申し込み

5歳児1年保育	大島幼稚園、みどり幼稚園
4～5歳児2年保育	枝川幼稚園、第二亀戸幼稚園 第三大島幼稚園
3～5歳児3年保育	平久幼稚園、南陽幼稚園、つばめ幼稚園 元加賀幼稚園、豊洲幼稚園、第五砂町幼稚園、なでしこ幼稚園

★問い合わせは、入園希望の幼稚園まで。

その他

★送り迎えは保護者の方をお願いしています。
 ★お弁当持参です。週1回弁当給食を申し込むことができます。
 ★南陽幼稚園、豊洲幼稚園は預かり保育があります。
 ※預かり保育は、振替休業日など園が指定する休園日があります。

2026
令和8年度
より

3年保育の園が 増えました！



平久幼稚園

優しい年中児・年長児との異年齢交流や
小学生の温かい眼差しのもとで、
安心してのびのび遊び、
健やかな心と体を育みます。

江東区木場 1-2-2
03-3645-6260



元加賀幼稚園

自然豊かな季節を感じられる園庭。
一人一人を大切にされた保育を行います。
豊かな体験の充実を図り、
保護者と共にお子さん育ちを支えます。

江東区白河 4-9-17
03-3641-1778

3年保育実施園

南陽幼稚園（東陽） つばめ幼稚園（扇橋） 豊洲幼稚園（豊洲）
第五砂町幼稚園（東砂） なでしこ幼稚園（北砂）

いつでもお問い合わせください。

江東区立幼稚園 3年保育(預かり保育あり)に通ってみて (保護者の感想)

●どの子ども受け入れ、どの子ども育む

発達が緩やかな息子です。私立幼稚園の3年保育に入園申し込みをしましたが、面接とテストで入園不可となりました。息子の発達が遅れていることを突き付けられ、行く当てがなく区立幼稚園に入園しましたが、先生方はどの子ども同じように大切に接してくださいました。学級の活動に参加できない息子を叱るのではなく、息子の行動を尊重してくださり個別に対応をしていただきました。

年長組の運動会では、みんなと一緒に生き生きと取り組んでいる姿を見て、区立幼稚園の先生方の指導力の高さを目の当たりにしました。現在は区立小学校の普通学級に進学しました。



●豊かな環境で伸び伸びと

区立幼稚園の3歳児に入園するまでは、私立の保育所に通っていました。娘は毎日楽しそうに保育所に通っていましたが、預かり保育があると聞き、親が仕事をしても区立幼稚園の教育を受けさせられると思い転園しました。



入園してみて、区立幼稚園の恵まれた環境に驚きました。広い園舎、アスレチックがある広い園庭、夏には大きなプールにも毎日入ることができます。どれも私立の保育所にはありませんでしたので、娘は幼稚園になってから、戸外で体を動かして遊ぶようになりました。両親が仕事をしている家庭のお子さんも、このように恵まれた環境で教育を受けられることを心から望みます。

●適切な発達を促す、適時の教育

オムツをしたまま区立幼稚園の3歳児に入園しました。トイレトレーニングに挑戦した時期もありましたが、うまくいかずあきらめていました。幼稚園では入園当初から先生が30分ごとに声を掛けてくれ、失敗したときにはシャワーや着替えもさせてくれ、親の私ができなかったことを丁寧にしてくれました。家庭でも先生に教えてもらったようにしたところ、入園から3か月でオムツが取れました。オムツ代もかからなくなり家計も助かりました。

我が子は3年保育に入れましたが、友達は抽選に外れて4歳からの入園でしたので3歳の1年間とても不安そうでした。みんなが笑顔の3歳になることを願っています。



●人との関わりを通して、心が豊かに育つ

いくつかの園を見学して、こどもが「絶対に入りたい!」と言ったのが区立幼稚園です。見学の際、どの学級に入っても「今度、幼稚園に入るの?〇〇組に入っているよ」「何して遊ぶ?これ使う?」などと、園のどの子ども我が子に親しみをもって関わってくれたからです。

元気のある我が子でしたので、3歳児への入園は心配もありましたが、担任の先生以外の先生もみんな我が子を知っていて、保護者の私にも声を掛けてくれました。たくさんの人に愛されて我が子は園で過ごしているのだと安心し、信頼して3年間通うことができました。

友達とのけんかもたくさんありましたが、園側がけんかやトラブルは人と関わる学びだと捉えて丁寧に関わってくださったので、ひとつひとつのことから我が子が人との関わりを学び、小学校に入学してからは大きなトラブルもなく、通っています。たくさんの人と一緒にこれからも生きていく上で、とても大切な人との関わり方を学ばせてもらったと感謝しています。



弁当給食

週1回、みんなで食べて
食の体験を広げています!

バランスがよく栄養満点

ご飯はホカホカ!

友達と同じメニューを食べられる喜び
苦手な食材にもチャレンジしています!

小学校の給食につながります!



弁当給食は、週1回、決まった曜日に利用できます。
費用は、1食499円です。(希望者のみ)



こども誰でも通園制度 新『あずかーる』が 始まります！



未就園児の定期的な預かり事業「あずかーる」から
「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）あずかーる」として
新たにスタートします。

保護者の就労状況にかかわらず、保育所等を利用していないお子さんが、
安心して園生活を体験し、友だちや先生と関わりながら成長できる制度です。

江東区立幼稚園における実施内容

利用対象者 2歳児（2023年4月2日～2024年4月1日生まれ）

実施期間 令和8年4月～令和9年3月18日

実施時間 9時00分～11時30分まで

利用料金 江東区民は無料

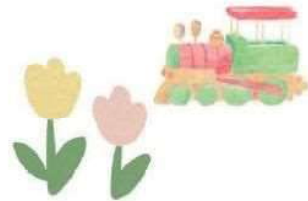
実施園

つばめ幼稚園（火・水実施）扇橋3-20-13-101
枝川幼稚園（木・金実施）枝川3-4-1-101
第二亀戸幼稚園（火・水実施）亀戸6-36-1
第五砂町幼稚園（木・金実施）東砂7-5-27

※利用定員、利用可能日は各園によって異なります。

申込方法

総合支援システムにおいて、
区へオンライン利用申請を行ってください。



問い合わせ先

江東区教育委員会事務局学務課幼稚園係

☎ 03-3647-9703



詳しくは、こちらから